

社会資本総合整備計画

平成 28 年 1 月 8 日

計画の名称	狛江市における循環のみちの実現									
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	狛江市							
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。									
計画の成果目標 (定量的指標)	①合流式下水道改善率を0% (H22) から100% (H26) に増加させる。 ②重要な管渠の地震対策実施率を4% (H22) から12% (H26) に増加させる。 ③下水道管渠の長寿命化基本計画策定率を0% (H22) から100% (H26) に増加させる。 ④下水道管渠の長寿命化調査・実施計画策定率を0% (H22) から8% (H26) に増加させる。 ⑤下水道施設の総合地震対策計画改定率を0% (H22) から100% (H26) に増加させる。									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値		備考				
				当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)				
①合流式下水道改善率 合流式下水道改善対策浸透量 (m3/hr) / 必要浸透量 (m3/hr)				0%	55%	100%				
②重要な管渠の地震対策実施率 重要な管渠のうち、耐震化、布設替え、減災対策が行われている延長 (km) / 重要な管渠の延長 (km)				0%	4%	12%				
③下水道管渠の長寿命化基本計画策定率 長寿命化基本計画策定済 (式) / 長寿命化基本計画策定 (式)				0%	0%	100%				
④下水道管渠の長寿命化調査・実施計画策定率 対策対象路線のうち、調査・実施計画策定が行われている管渠延長 (km) / 対策対象路線管渠の全延長 (km)				0%	0%	8%				
⑤下水道施設の総合地震対策計画改定率 総合地震対策計画改定済 (式) / 総合地震対策計画改定 (式)				0%	0%	100%				
全体事業費	合計 (A+B+C)	584	A	584	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 社会資本総合整備計画事後評価に関する第三者委員会 (狛江市環境保全審議会) にて実施。	事後評価の実施時期 平成28年1月7日 公表の方法 市HPにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
多摩川流域野川処理区																	
A-2	下水道	一般	狛江市	直接	狛江市	合流	新設	浸透施設 (合流改善)	浸透施設 992m ³ /hr相当	狛江市						331	合流改善
A-4	下水道	一般	狛江市	直接	狛江市	合・汚・雨	改築	マンホール浮上防止 (地震対策)	マンホール浮上防止 129基	狛江市						126	地震対策
A-5	下水道	一般	狛江市	直接	狛江市	合・汚・雨	改築	可とう化 (地震対策)	人孔接続部の可とう化 68箇所	狛江市						35	地震対策
A-6	下水道	一般	狛江市	直接	狛江市	合・汚	新築	マンホールトイレ (地震対策)	マンホールトイレ 16基	狛江市						26.2	地震対策
A-7	下水道	一般	狛江市	直接	狛江市	合・汚・雨	改築	長寿命化基本計画策定 (改築更新)	長寿命化基本計画策定	狛江市						10	長寿命化
A-8	下水道	一般	狛江市	直接	狛江市	合・汚	改築	長寿命化調査・実施計画 (改築更新)	管渠内調査診断、実施計画 (幹線)	狛江市						40	長寿命化
A-9	下水道	一般	狛江市	直接	狛江市	合・汚・雨	改築	総合地震対策計画改定 (地震対策)	総合地震対策計画改定	狛江市						9	地震対策
A-10	下水道	一般	狛江市	直接	狛江市	合流	新設	合流改善事後評価 (合流改善)	合流改善調査	狛江市						7	合流改善
											合計	584					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
											合計	0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計													0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

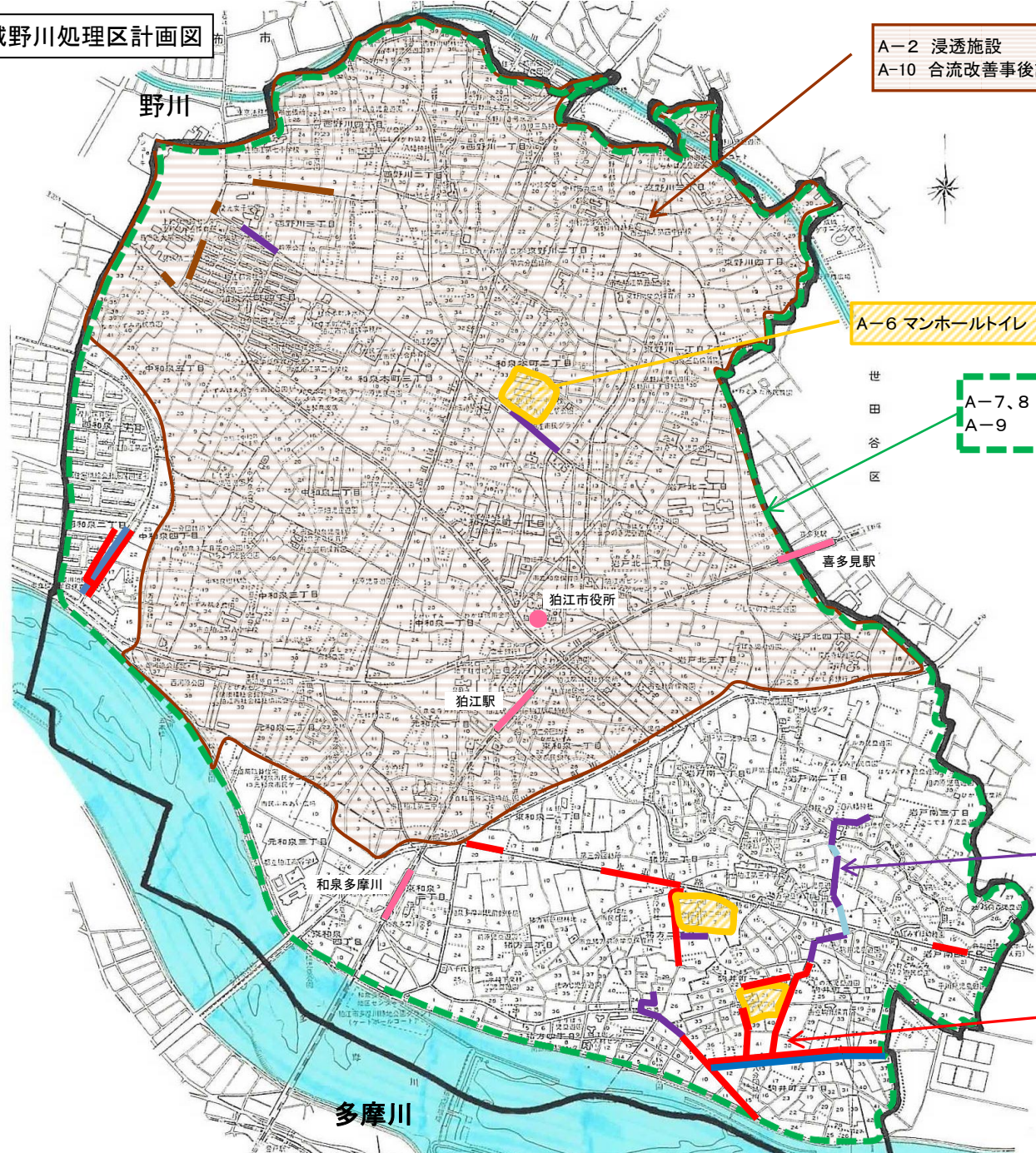
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・目標の合流式下水道改善率を達成したことにより、放流水質の改善と未処理放流回数の削減が見込める。 ・目標の耐震化率を達成したことにより、想定される地震時に、下水道の流下機能の確保に対して一定の寄与が見込める。 ・目標の下水道管渠の長寿命化基本計画策定率を達成したことにより、緊急度及び優先度を考慮した第一期長寿命化計画の対象範囲の抽出が見込める。 ・目標の下水道管渠の長寿命化調査・実施計画策定率を達成したことにより、調査結果を踏まえた更新・長寿命化の検討が見込める。 ・目標の下水道施設の総合地震対策計画改定率を達成したことにより、上位計画等との整合が見込める。 													
II 定量的指標の達成状況	指標① （合流式下水道改善率）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因											
		最終実績値	100%												
	指標② （重要な管渠の地震対策実施率）	最終目標値	12%	目標値と実績値 に差が出た要因											
		最終実績値	12%												
	指標③ （下水道管渠の長寿命化基本計画策定率）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因											
		最終実績値	100%												
	指標④ （下水道管渠の長寿命化調査・実施計画策定）	最終目標値	8%	目標値と実績値 に差が出た要因		下水道管きょ長寿命化計画の策定（平成25年度）において布設年度が不明であった管渠を精査した結果、長寿命化対象路線の全延長が139.3kmから175.7kmまで延長されたため。									
		最終実績値	6%												
	指標⑤ （下水道施設の総合地震対策計画改定率）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因											
		最終実績値	100%												
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）															
3. 特記事項（今後の方針等）															
<ul style="list-style-type: none"> ・次期社会資本総合整備計画の中で、地震対策は幹線の耐震化、管渠継手部の可とう化、管浮上防止対策を行い更なる管渠耐震化率向上を図るとともに、災害時のマンホールトイレ設置を推進する。 長寿命化対策については、幹線の改築・更新を行い長寿命化を推進する。 また、合流改善事業として行っていた集水樹の浸透化については、単費にて引続き合流地域の集水樹の浸透化を推進する。 															

※工種欄には、新設、増設、改築を記入。

(参考図面) 防災・安全交付金事業

計画の名称	狛江市における循環のみちの実現		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	狛江市

多摩川流域野川処理区計画図



A-2 浸透施設
A-10 合流改善事後評価

A-6 マンホールトイレ

A-7, 8 長寿命化
A-9 地震計画改定

凡例	
	合流改善
	地震対策
	マンホールトイレ
	長寿命化地震計画改定

A-5 可とう化

A-4 マンホール浮上防止